

## 若手教師パワーアップセミナー「元気が一番」塾

# 2006 夏季セミナー

日時 平成18年(2006年)8月19日(土) 10:00~17:00 (受付 9:30~)

場所 兵庫県民会館 3F (303) 神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL078-321-2131

日程 10:00~10:10 開会挨拶

★10:10~11:40 第①講

「子ども」と「本」と「学び」をつなぐ ~本 大好きっ子に~

ゲスト講師 曲里 由喜子 (小学校司書教諭)

★13:00~14:30 第②講

ディズニーから学んだもの ~「風土」と「教育」~

ゲスト講師 大路 亨 (元小学校長)

★14:45~16:15 第③講

教師力を磨く ~若手教師が伸びる10のすすめ~

講師 仲島 正教 (「元気が一番」主宰)

16:15~17:00 質疑応答、閉会挨拶

### ※ 講師紹介

- ・大路 亨 元 西宮市立北夙川小学校長。西宮市教育委員会学校保健課長等歴任。校長時代「ぬくもり」を学校教育目標に掲げ、教師・子ども・保護者・地域を温かくつなぐ学校経営を行う。「人は自分を大切にしてくれる所に戻ってくる」というディズニーの精神を生かした教育を実践。どんなゴツな子も大路先生を慕い、あいさつをし、踏みつけていた靴のかかとを踏まなくなっていく。
- ・曲里由喜子 現 西宮市立広田小学校司書教諭、西宮市教育委員会教科指導員。元兵庫県学校図書館協議会事務局長。曲里先生の学校では、読書週間が読書習慣に変わっていき、本の貸し出し数は倍増。本なんか嫌いという子どもが本を読み始めるのである。「はじめはガサガサしていた子でも、毎日続けていくと次第に耳を傾け、目を輝かせてくる」 曲里先生の間かせ読みは、魔法の声である。
- ・仲島 正教 現 若手教師パワーアップセミナー「元気が一番」塾主宰。元西宮市教育委員会指導主事(5年間)西宮市内小学校教諭(21年間)。2005年3月に48歳で退職し、その後、教育サポーターとして「元気が一番」塾をはじめ、全国各地で講演や研修を行っている。「教師の仕事はしんどいけど楽しいもの」「子育てはしんどいけど幸せなもの」そんなメッセージを伝えたいと思っている。

# 子どもと本と学びをつなぐ

## — 本 大好きっ子に —

はじめに

教え子から学ぶ教育の原点

### 子どもが変わる本との出会い

- ・「椋鳩十さんとの出会い」
- ・「しろいうさぎとくろいうさぎ」
- ・「パパさんの庭」
- ・「ルドルフとイッパイアッテナ」

ポケットの話

#### 1 学校図書館経営計画・・・・・・・・・・いつも人のいる図書館

### 子どもと本と学びをつなぐ

- ・学校図書館を核とした学校経営 <資料①>
- ・専任司書教諭として子どもたちとかかわって <資料②>
- ・家庭読書の実施ー読書週間から読書習慣へー <資料③>
- ・学校図書館ボランティア「スマイルママ」の活動に支えられて

#### 2 学校図書館メディアを利用する学習計画・・・読書楽習より

### 授業を支えるために

- ・1年「そらまめくんのベッド」
- ・2年「雨のおさんぽ」 <資料④>
- ・3年「介助犬シンシア」
- ・4年「アメリカからの転校生」
- ・5年「さっちゃんのまほうのて」
- ・6年「よだかの星」

#### 3 本大好きっ子に・・・読み聞かせ・聞かせ読み・ブックトーク・アニメーション

### ブックウォーク・ストーリーテリング 美しい言葉のシャワー＝読書力

- ・読み手と聞き手の心のふれあい・・・言葉の力
- ・耳から聞く読書体験・・・お話を楽しめる子、楽しめない子
- ・「しゅくだい」
- ・「ミニトマト」
- ・「14ひきのおつきみ」
- ・「たからものくらべ」

# 「ディズニーから学んだもの」

…「風土」と「教育」…

大路 亨

学校・学級の中に、子どもたち一人ひとりが、本当に大切にされている  
そんな風土がありますか？

- 夢破れて、台所あり
- ディズニーの“風土”から学ぶ
- 一人ひとりを大切にす風土づくりのために
  - 1) 明確な経営理念
  - 2) ゲストが“見える”
    - ・ 大切な忘れもの
      - 一番大切な人が見えていますか
    - ・ 急ぎすぎていませんか
      - あせれば、自分も周りも見えなくなる
    - ・ 定点観察のすすめ
      - 何かが見えてくる
  - 3) ゲストと“共鳴”
    - ・ 共鳴 とは
      - 「共鳴」することで、エネルギーを
    - ・ 「好きになる」ということ
      - 「好き」になれば、気持ち伝わる
- 与論の風土
- 亡き夫からの手紙

# 教師力を磨く ～若手教師が伸びる10のすすめ～

仲島正教

(<http://www2.bbweb-arena.com/naka602>)

## はじめに ～教師力とは～

### 第1章 「教師」のすすめ ～この仕事の魅力～

- ・初めて教壇に立った時・・・夢が実現、しかし現実は
- ・3月、子どもとの別れ、そして感動・・・「一生、先生をやりたい」
- ・「一人の喜びはみんなの喜び」・・・真由美の台上前転
- ・「涙が出てしもうた」・・・涙の卒業試験
- ・「オレ、先生と会えてよかった」・・・優介とのマラソン
- ・教え子と飲める幸せ
- ・教師の仕事というのは

### 第2章 「若い」のすすめ ～若さは大きな財産～

- ・若いというだけで子どもは喜ぶ
- ・若いというだけで保護者は心配する
- ・若いというだけで許されることもある・・・自分のクラスだけ頑張る
- ・失敗しても大丈夫、とにかくやってみること
- ・ちょっと生意気ぐらいがちょうどいい・・・職員会議で反論できる先生に
- ・苦手な教科こそ、実は得意になる可能性がある
- ・アホな先生になろう
- ・イチロー（マリナーズ）の言葉

### 第3章 「出会い」のすすめ ～「出会い」それは成長～

- ・出会いはいいスタートにつながる
- ・子どもを惹きつける着任式での出会い・・・「この先生に担任になってほしい」
- ・教室での出会い・・・「ここでボクはがんばれそうだ、よし、やるぞ」
- ・先入観を持たない出会いを
- ・担任の主張が出る出会いを
- ・保護者との出会い・・・始業式の連絡帳はとっても大事
- ・目標の先生との出会い・・・あんな先生になりたい
- ・授業との出会い・・・こんな授業をしてみたい
- ・こんな出会い、あんな出会い・・・頑張れば出会いが増える
- ・「めあて」との出会い・・・個人のめあての持たせ方

### 第4章 「遊び」のすすめ ～若手教師の最大の切り札～

- ・思い出は「先生と遊んだこと」
- ・若い時に遊ばずして、いつ遊ぶ？ 遊ばない教師はいらない
- ・休み時間には一番に運動場に出る
- ・ただのお兄ちゃんとプロ教師の違い・・・一番しんどい子と手をつなぐ
- ・遊びの中に本音がつまっている
- ・先生はガキ大将に
- ・遊んでもらった経験はその子の一生の宝
- ・悩んだ時は、とにかく遊べ
- ・息がハーハーしながら授業にのぞむ喜び
- ・ゲーム「大あらし」で知る家庭の様子

## 第5章 「ほめ方」のすすめ ～具体的なほめ方を～

- ・何をほめるのか
- ・いつほめるのか
- ・学級通信でほめる
- ・個人懇談会でほめる
- ・学級懇談会（全体懇談会）でほめる
- ・通知表でほめる
- ・家庭訪問でほめる・・・5分間家庭訪問のすすめ

## 第6章 「研究授業」のすすめ ～授業のうまい先生に～

- ・教師の原点は授業
- ・研究授業は自分を伸ばすチャンス
- ・授業づくりと学級づくりは両輪
- ・若手教師が研究授業をするから研究会が盛り上げる
- ・たかが指導案、されど指導案
- ・一人ひとりを生かす指導案の書き方
- ・座席表を書くと子どもの理解が格段に深まる
- ・研究授業を見るポイントは？

## 第7章 「学級通信」のすすめ ～子どもが輝く学級通信～

- ・学級通信の題を考えることからスタート
- ・どんなことを書くのか
- ・学級通信を「書くこと」によって
- ・学級通信を長くつづけるコツは？
- ・学級づくりと学級通信

## 第8章 「書くこと」のすすめ ～書きたくなる工夫を～

- ・子どもに「書いてみたいな」と思わす作文指導の工夫あれこれ  
小さい用紙、小さいノートは意外な効果がある

友達の作文の紹介を必ずする  
作文指導というより、感動体験をどれだけさせるか  
体育の授業のあとで、  
ミニミニ遠足のあとの「見たこと帳」で  
修学旅行物語・・・原稿用紙30枚に挑戦  
卒業前の「30日日記」

- ・子どもの記録をどうつけていくか  
一人一人の名前が入った「粹杓り」ノートを  
どんなことを記録ノートに書くのか  
意外な発見こそ大事なところ  
こんな記録をつけるとおもしろい  
いつ記録をつけるのか、その時間の確保  
この記録ノートは懇談会や通知表の所見に

## 第9章 「人権教育」のすすめ ～優しい人に育てたい～

- ・人権教育って何？ 一言で言えば「優しい人」になることです
- ・「先生、私には憂という字は〇〇と〇〇に見える」
- ・優しい人になれば、人権問題は解決するの？・・・差別の冰山
- ・人権教育の視点に立った学級づくり、授業づくりとは・・・
- ・同和教育と人権教育の違い
- ・同和教育の解決に向けて・・・「人間を変えるのは教育しかありません」
- ・子どもたちの叫びを大人は聞いてほしい

## 第10章 「体育」のすすめ ～体育を通しての人間づくり～

- ・高田典衛先生と土谷正規先生との出会い
- ・体育の授業で大切なことは
- ・一番苦手な子が生き生きと活動する体育に
- ・魅力ある体育学習にするための4条件
- ・体育を通じた人間づくり・・・その実践例4年「ゴールパスゲーム」より
- ・体育の学習とは、自分の生き方に自信と勇気を与えてくれるもの

## 終わりに ～教育は足でかせぐもの～

(大修館書店 2006.10)